

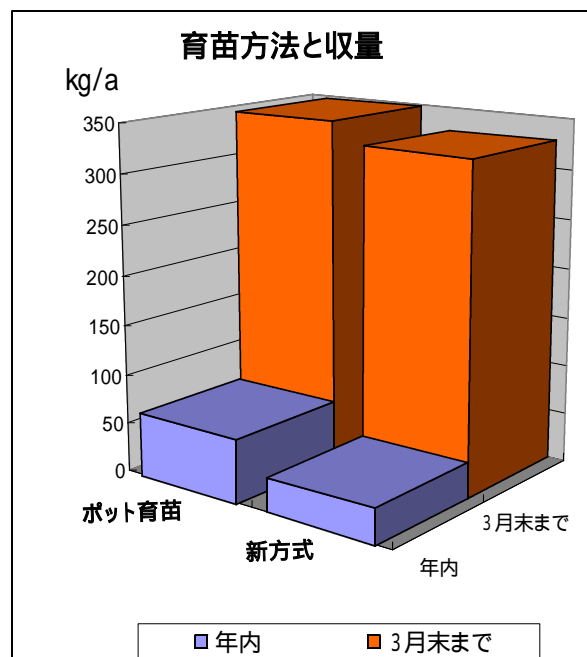
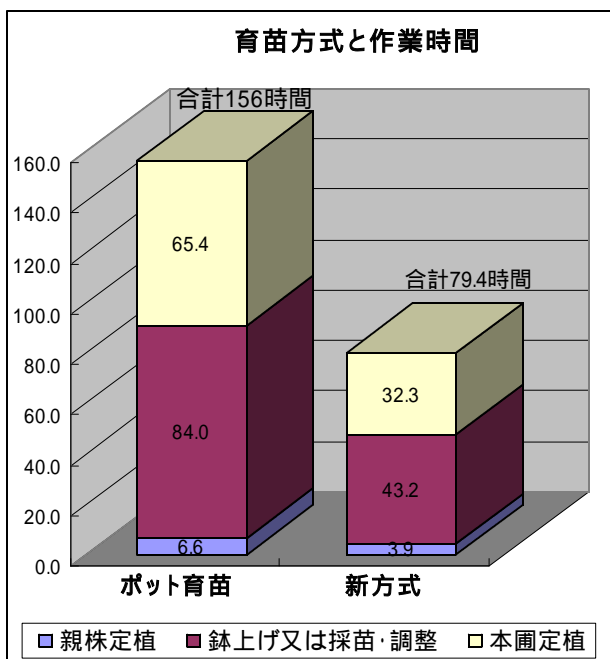
# 軽作業なイチゴ苗大量生産技術の確立

イチゴ栽培では生産者の高齢化や病害の多発により健苗確保が困難になってきています。そこで、軽作業なイチゴ苗の大量生産技術として、立ったままで管理作業のできる高設無仮植育苗方式を開発しました。

新方式では4月中旬親株定植で200本/m<sup>2</sup>、5月中旬定植でも130本/m<sup>2</sup>程度の発根良好苗が生産可能であり、ポット育苗に比べ主要作業の労働時間を1/2程度に短縮でき、管理に伴う屈み作業をなくすことができました。



育苗システムと採苗前の苗の状況



7500株/10aの定植苗に要する作業時間

ポット育苗に比べ年内収量は半分程度であるが、3月末までの収量はほぼ同等

(園芸研究所 野菜・花担当 TEL0480-21-1113)